

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SORATO(UMIE)いなみ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 22日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年 10月 22日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士(ST)の専門的な発達援助技術(ART)をベースにした療育支援プログラムを提供しています。	ST-ARTプログラムを基に個別療育を提供し、小集団療育、集団療育へと展開していくことで、習得を目指しています。	言語聴覚士(ST)による、施設内研修会や実施方法など職員のスキル向上を図り、個別支援計画や専門的支援実施計画に具体的な支援と個々に応じた教材を取り入れています。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの二つの事業を一体的に提供できる多機能型の事業所であり、幼児期から小学校への移行期である新しい環境に対し、途切れることなく一貫した本人への対応ができ、寄り添った療育支援を提供しています。	未就学から小学校就学に向けて、準備を楽しく行えるように支援の取り組みを行っています。さらに、特性や本人の強みを生かして療育内容を継続しています。	就学前や就学後の気持ちの変化に気付き、状況に応じてサポートすることや、家族支援等などの充実を図る取り組みを行っています。

3	教室以外にプレイルームを完備しています。	活動教室とは別に、プレイルームを利用し、移動時には意識の切り替えが自然に行えるように取り組んでいます。	年齢層の違いがある事によって、独自のルールを提案するなど、子ども達の中で発展する取り組みを行っています。
---	----------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	曜日により利用者が来られる時間帯が異なるため、職員の勤務時間や休憩時間などが変則になってしまうことから、情報共有を行うタイミングに時差が生じてしまいます。	営業時間内の受け入れ時間を朝から夕方まで区切らずに行っているため、休憩時間や送迎対応などで現場がやや手薄になってしまうことがあります。	個人情報に留意しながら随時情報共有を行うために、職員のみが使用できるアプリなどの利用や、気軽に声掛が出来る信頼関係を作り情報共有を行っています。
2	児童発達支援をご利用のお子様において送迎ができるよう調整していますが、職員等の配置調整のため送迎の希望に応えられない場合があります。	送迎においては、できる限り調整を行い対応をしています。が、限られた時間の中に集中してしまう状況が発生しています。そのため、希望時間を変更して頂くことや保護者様の方で送迎して頂けるよう、協力をお願いしている状況があります。	送迎依頼のニーズにおいては、継続が可能な状況を保護者様と相談し納得して頂きながら、本児の状況などにも配慮しつつ安全を優先して対応を行っています。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

SORATOいなみ

公表日

2024年 12月 27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86% (5人)	14% (2人)	・椅子に座って学習できる環境を提供し学習スペースと活動スペースを分けて対応しています。 ・未就学児用のクッションフロアのスペースを確保しています。	・子どもの利用開始時間が違うため、児童の体調や状況によって個室利用の時間帯が重なってしまう事があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	58% (4人)	42% (3人)	・定められた人数だけでなく、加配なども考えた配置数で対応しています。	・状況によっては個別対応が多くなる場合もあり、児童の安全を優先に対応せざる負えない場合があります。 ・出来る限り送迎時間の変更に対応していますが、保護者様にご相談させて頂くこともあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86% (5人)	14% (2人)	・フローリングを中心とした施設内になっていて、入室からの導線においても工夫しています。 ・時計など日常に見る視覚的なものも分かりやすい位置に配置し確認しやすくしています。	・開き戸による扉の開閉頻度が多いので、安全に注意して利用していく必要があります。 ・おもちゃなど、子ども達で片付ける場合に数や、重さに注意して対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100% (7人)	0%	・空気清浄機を配置し、空調管理や空気の入替も子ども達の活動に合わせて行っています。 ・フローリングの拭き掃除などを必要に応じ行っています。	・子ども達のいない時間帯を見計らって、洗剤の使用や、高所における清掃を行うため、分けて行っています。

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100% (7人)	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・フロアスペース・個室・プレイルームなど状況に応じて活用しています。 ・課題に取り組む際に場所や向きなどを意識して対応できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の幅を試行し、より良い構造化を目指して参ります。 ・自由に活用できるスペースがあるが、取り組む姿勢や安全に配慮して進めていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86% (5人)	14% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・メイプル日誌を利用し、情報共有や課題の確認を行っています。 ・会議に参加できない状況では意見の吸い上げをする機会を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主にパート職員が会議に参加する機会が作りにくい状況があり、共有を図る為には時差が生じてしまいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	86% (5人)	14% (2人)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け評価表を直接確認する時間を設けていないが、保護者様のご意向として職員間で共有を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も業務改善の意識に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100% (7人)	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時などに保護者様の意向について伺った場合、その日のうちに他職員と共有し、改善に向けて対策を話し合いをもち対応を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい時間帯になる事もあり、ミーティングなどで確認する事も検討していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	58% (4人)	42% (3人)	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価の活用を行っていませんが、第三者による見学等の受け入れなどを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では第三者による外部評価の活用は考えていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100% (7人)	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修を積極的に取り入れており、地域や行政主催の研修にも積極的に参加しています。また、言語聴覚士による研修は定期的に行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務バランスを考えつつ継続的に参加しスキルアップに努めていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100% (7人)	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなどに記載してあります、検査などの資料などを基に、ST-ARTプログラムを有効に活用しコンセプトを重視したプログラムとなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続し、ご意見などがありましたら検討していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	100% (7人)	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成時に、アセスメントを行っており、必要であれば優先ニーズの変更を行うなどの対応をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の取り組みを継続していきます。

13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100% (7人)	0%	・担当者会議を行い、本人の最善の利益を考え作成をしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	86% (5人)	14% (2人)	・個別支援計画に基づいた支援の内容が常に手元にあり、確認できる環境としています。	・現状の取り組みを継続していきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100% (7人)	0%	・検査などの資料を基に、個別療育や小集団療育、集団療育を取り入れ継続的に行動観察を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100% (7人)	0%	・行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100% (7人)	0%	・担当者で会議を行い、年間計画を基に決定しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100% (7人)	0%	・個別支援計画に基づいて個別療育を提供するにあたり、前回の支援内容を確認し目的は同じでもアプローチに変化を付けて提供しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	100% (7人)	0%	・個別支援計画に基づいて個別活動と集団活動を適宜組み合わせていき、前回の支援内容を確認し目的は同じでもアプローチに変化を付けて提供しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	86% (5人)	14% (2人)	・本日の流れや送迎などの確認、打ち合わせを行っています。	・打合せに参加できない場合に、共有を図る為の連絡に時差が生じてしましますが、漏れの無いように注意しています。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100% (7人)	0%	・メイブル日誌を利用して情報共有や課題の確認を行い、その日に振り返りや共有している内容などを話し合うようにしています。	・打合せに参加できない場合に、共有を図る為の連絡に時差が生じてしまいますが、漏れの無いように注意しています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100% (7人)	0%	・メイブル日誌を使って、保護者へ連絡帳を送付するほか、ヒヤリハットや医療情報などを伺った場合には共有する為、内容を記録しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100% (7人)	0%	・記録などを参考に、担当者による面談などでモニタリングに必要な情報を整理し、担当者で共有を図ったうえで会議を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100% (7人)	0%	・就学時に必要なソーシャルスキルや意思決定など、創作活動を取り入れた提供を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100% (7人)	0%	・就学時に必要なソーシャルスキルや意思決定など、創作活動を取り入れた提供を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100% (7人)	0%	・児童発達支援管理責任者を中心に積極的に参加しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100% (7人)	0%	・各関係機関と連携を図っており、必要があれば予約なしでも施設に訪問して頂けるようお願いしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	72% (5人)	28% (2人)	保護者様を通して連携を取る事もありますが、スーパーバイズの機会はありませんでした。	・現状の取り組みを継続し必要であれば、スーパーバイズも検討していきます。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14% (2人)	86% (5人)	・現在は地域の事業所間の交流は行っていません。	・今後災害時などの取り組みなどを踏まえ必要に応じ、検討していきます。

30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100% (7人)	0%	・送迎時などに保護者様の意向について伺うなど、相談しやすい環境を心掛けています。また、研修等で見立てのスキルアップを図り、共有認識が出来るように話し合いを行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86% (5人)	14% (2人)	・3ヶ月に一回程度の目安で保護者向け研修会を自由参加で開催しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
32	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100% (7人)	0%	・就学前の保護者様からの相談において、関係機関と連携が必要な場合や、情報提供の為の書類の作成などを行い、情報の共有を図っています。また、必要に応じて就学前の会議などにも参加しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
33	【 <u>児発事業所・児発センターのみ</u> 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86% (5人)	14% (2人)	・就学前の保護者様からの相談において、関係機関と連携が必要な場合や、情報提供の為の書類の作成などを行い、情報の共有を図っています。また、必要に応じて就学前の会議などにも参加しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
34	【 <u>児発センターのみ</u> 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【 <u>児発センターのみ</u> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【 <u>児発センターのみ</u> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【 <u>放デイのみ</u> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100% (7人)	0%	・保護者様からの連絡だけでなく、必要であれば学校に連絡し確認調整を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。

	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100% (7人)	0%	・卒園後に関係機関とお会いする機会があれば、個人情報に留意し情報共有する場合があります。	・現状の取り組みを継続していきます。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100% (7人)	0%	・小学校3年生までの利用としている為、行っていません。	・現状の取り組みを継続していきます。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100% (7人)	0%	・時間調整が出来る場合は、可能な限り参加しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100% (7人)	0%	・保護者様が手にして見ることが出来る場所に設置していると共に、契約時などに丁寧な説明を心掛けています。	・現状の取り組みを継続していきます。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100% (7人)	0%	・個別支援計画を作成するにあたり、担当者会議を行い子どもの最善の利益を考えて作成しています。また、保護者様の意向とすり合わせて優先度をつけて対応しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
保護者	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100% (7人)	0%	・原案にて児童発達支援計画書について説明の上、同意を頂いています。	・現状の取り組みを継続していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (7人)	0%	・送迎時などに保護者様の意向を伺うなど相談しやすい環境を心掛けていて、その場で返答できない件については、後日職員間で話し合い結果をお伝えしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	72% (5人)	28% (2人)	・保護者研修会を開催し交流する機会を設けています。	・現状の取り組みを継続していきます。

への説明等

46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100% (7人)	0%	・鍵付きの意見箱を玄関口に設置しており、担当者が管理しています。また、苦情等につきましては速やかに対応しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100% (7人)	0%	・Instagramなどを活用し、活動内容や長期休みなどの連絡などを配信しています。 ・言語発達検査につきましては、HPなどを活用し予約確認を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100% (7人)	0%	・契約時に説明し、同意を頂いておりますが、内容によっては、その都度同意を頂き対応しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100% (7人)	0%	・連絡帳、メール、カードなど様々な方法を使って対応しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14% (2人)	86% (5人)	・事業所の行事において今のところ、地域交流の場の企画は考えていません。	・今後災害時などの取り組みなどを踏まえ必要に応じ、検討する課題と考えています。
51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100% (7人)	0%	・保護者様の意向について相談しやすい環境を設定し、その場で返答できない内容については、後日職員間で話し合った結果をお伝えしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	72% (5人)	28% (2人)	・各種マニュアルを、確認できる場所に保管し対策について常時必要な情報の更新、又は対応のため研修等で確認を行っています。	・現状の取り組みを継続していきます。
53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100% (7人)	0%	・業務継続計画（BCP）は策定しており、年2回以上の避難訓練等において実践訓練を取り入れています。	・今後、災害時の状況を想定し必要に応じて訓練などの導入も検討課題と考えています。

非常時等の対応

54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100% (7人)	0%	・契約時のアセスメント内容において既往症や成育歴などを必要に応じて確認しています。また、日々のお話の中でも確認しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100% (7人)	0%	・体験利用などの時から、食物アレルギーなどについて伺い、必要に応じ対応しています。	・現状の取り組みを継続していきます。
56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100% (7人)	0%	・避難経路の確認及び、実地訓練以外にも交通安全に対する支援を取り入れ、周知を図るようにしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	72% (5人)	28% (2人)	・Instagramなどを利用し、訓練の様子については配信しています。	・今後の検討課題として、取り組みの検討を行います。
58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100% (7人)	0%	・日々の活動記録と同様に、ヒヤリハットなどを記録し、対策について周知しています。	・会議やその場で共有できない場合には、時差が生じますが、後ほど共有を図っています。
59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100% (7人)	0%	・社内研修を含め、外部研修などを利用し年に数回の研修に参加できるようにしています。	・現状の取り組みを継続していきます。
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100% (7人)	0%	・個別支援計画作成時に身体拘束についての説明を行っていますが、現在該当者はいません。状況によっては話し合いを先に行い、環境設定を中心に取り組んでいます。	・現状の取り組みを継続していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

SORATO(UMIE)いなみ

公表日 2024年 12月 27日

利用児童数 37

回収数 34

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (34人)	0%	0%	0%	・とても広いのでスペースに関しては十分だと思う	指導訓練室は基準の2倍以上の広さを確保しております。また、指導訓練室とは別に約70㎡のプレイルームも完備しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	85% (29人)	9% (3人)	0%	6% (2人)	・実際その日に担当して下さる先生が誰かが分かりません。	最低人員に加え、加配の職員も2名配置しています。その為、担当制をとらずに利用者様の状況に応じ対応できる体制としています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93% (31人)	5% (2人)	0%	2% (1人)	・運動部屋があつてとてもいい。	現状維持に加え、今後もお子様の状況に応じて必要な対策を順次考えて対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100% (34人)	0%	0%	0%	・いつもすごくきれい	支援中の換気をこまめに行うことや、支援後の玩具等の消毒をも継続していきます。また、経年劣化などによる、修繕なども行い快適に利用して頂けるように努めています。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94% (31人)	2% (1人)	2% (1人)	2% (1人)	・細かくお話を聞いてくださるので、こどもも安心して活動できていると思う。	保護者のニーズを受け止め事業所のコンセプトに沿って個々の支援の提供に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94% (31人)	0%	0%	6% (2人)	・未記入	概ね相違はないが、個々のニーズの優先度に合わせて対応しています。

適切な支援の提供

7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されていると思いますか。	91% (30人)	6% (2人)	0%	6% (2人)	・未記入	言語発達検査による5領域のアセスメントも活用し、日々の保護者の意見を受け、個別支援計画を作成するにあたりケース会議を行い、職員の見立てを擦り合わせて作成しています。
8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	85% (29人)	6% (2人)	0	9% (3人)	・未記入	5領域の中の優先度に基づき「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目ごとに作成しています。また、今期から始まりました、専門的実施計画において、より具体的な内容を提案しています。
9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	88% (30人)	6% (2人)	0	6% (2人)	・未記入	個別支援計画を念頭に支援を行っていて、今後も継続して対応していきます。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88% (30人)	6% (2人)	0	6% (2人)	・未記入	コンセプトに沿って、関連性や継続性もって、ワクワク出来るプログラムを提供しています。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	40% (13人)	11% (4人)	6% (2人)	43% (15人)	・未記入	現在は他施設や地域の交流の機会は設けていません。今後、必要に応じて機会があれば検討していきます。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97% (33人)	0%	3% (1人)	0%	・未記入	見学や、体験時に継続的な利用がイメージできるように説明を行い、問合せがありましたら対応しています。
13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	91% (31人)	6% (2人)	0%	3% (1人)	・未記入	お渡しする際に必ず説明しています。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	79% (27人)	15% (5人)	0%	6% (2人)	・未記入	定期的な保護者向け研修会を開催し、今後も保護者様のニーズに即した内容を検討しています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	88% (30人)	12% (4人)	0%	0%	・未記入	随時、送迎時などでご様子を伺い、情報の共有を行っています。

保護者への説明等

16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67% (23人)	30% (10人)	0%	3% (1人)	・未記入	個別支援計画の更新時以外にも要望があれば、関係機関の訪問やケース会議などの開催を行っています。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	76% (26人)	17% (6人)	0%	7% (2人)	・一部の先生は挨拶もなくあまり愛想が無いと思いました。	保護者様のご意向を伺い、支援者側からの提案をさせていただく事もあります。その為、不快に思われる事もあるかもしれませんが、ご相談をさせて戴きながら進めています。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14% (5人)	23% (8人)	12% (4人)	51% (17人)	・未記入	現在は、父母の会やきょうだい同士の交流の機会は設けていません。今後、お困りごとなどの相談をお受けする中で、ご要望が多数ありましたら研修会など検討を考えていきます。
19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	73% (25人)	15% (5人)	6% (2人)	6% (2人)	・未記入	保護者様からの相談や申し入れについて、できる限り適切に対応していて、ご意見箱も設置し匿名での相談も受け付けができる体制を整えています。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	85% (29人)	9% (3人)	0%	6% (2人)	・未記入	送迎時に活動の様子や、Instagramなどを使ってお伝えするとともに、連絡帳等も活用しています。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	79% (29人)	9% (3人)	0%	12% (4人)	・未記入	Instagramなどを利用し、大まかな行事につきましてはSNSにて発信しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88% (30人)	6% (2人)	0%	6% (2人)	・未記入	契約時に個人情報の取扱いについて説明を行い、今後も個人情報の取扱いについて注意を払っていきます。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	62% (21人)	6% (2人)	6% (2人)	26% (9人)	・未記入	各種マニュアルについては事業所内にて作成し、周知しています。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44% (15人)	13% (4人)	3% (1人)	40% (14人)	・未記入	避難訓練計画書を元に年2回以上の避難訓練を実施しています。

非常時等

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	76% (26人)	6% (2人)	0%	18% (6人)	・送迎のシートを増やしてほしい。	Instagramなどで避難訓練の様子を発信していますが、他の周知の方法も検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70% (24人)	7% (2人)	0%	23% (8人)	・けがをしたことがないので分からない。	緊急時の連絡先を頂き、随時必要な場合は連絡をとり対応をしています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	94% (32人)	6% (2人)	0%	0%	・いつもありがとうございます。	引き続き支援の質の向上に努めていきますので、今後ともよろしくお願いたします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	83% (28人)	17% (6人)	0%	0%	・毎回工作を楽しみにしている。 ・元気に通えています。	就学前後のお子様の心の変化に対応しつつ、意欲を引き出す工夫を行っています。お子様の居場所として楽しく通いたくなる場所として、個々の特性に必要な療育教材も作成しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	90% (31人)	10% (3人)	0%	0%	・とても満足。 ・とても考えられている。 ・いつもありがとうございます。	ご意見を頂けたことを、今後も創意工夫を重ね、事業所として発展できますよう尽力していきます。